令和6年度CASBEE届出建築物（高砂市受付分）

受付番号	建 築 物 名 称	建築用途	建 設 地	構 造 階 数 工事種別	工事完了予定日	評 価 結 果
6-1	社会福祉法人常寿会 （仮称）中筋常寿会特別養護老人ホーム （受付番号：5-1 変更届）	病院	高砂市中筋5丁目	S造 地上2F 新築	2025年3月	B+
6-2	サントリープロダクツ株式会社 高砂工場 第三期 増設工事 生産棟	工場	高砂市荒井町新浜	S造 地上3F 増築	2025年11月	B+
6-3	サントリープロダクツ株式会社 高砂工場 第三期 増設工事 配送センター棟	工場	高砂市荒井町新浜	S造 地上2F 増築	2025年11月	B-

CASBEE®-建築(新築)　評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 使用評価ソフト：CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要

建物名称	社会福祉法人常寿会（仮称）中筋常	階数	地上2F
建設地	兵庫県高砂市中筋5丁目73番地4他	構造	S造
用途地域	準住居専用地域、第二種低層住居専	平均居住人員	80 人
地域区分		年間使用時間	8,760 時間/年（想定値）
建物用途	病院,	評価の段階	
竣工年	2025年3月　0.0	評価の実施日	2024年4月8日
敷地面積	7,516 ㎡	作成者	前田泰志
建築面積	1,883 ㎡	確認日	2024年4月8日
延床面積	3,228 ㎡	確認者	前田泰志

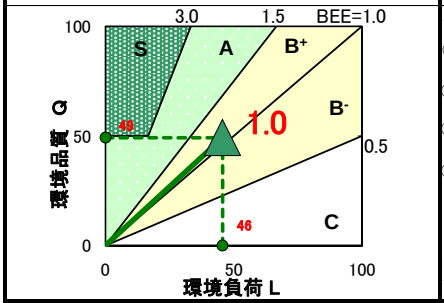
1-2 外観



2-1 建築物の環境効率（BEEランク&チャート）

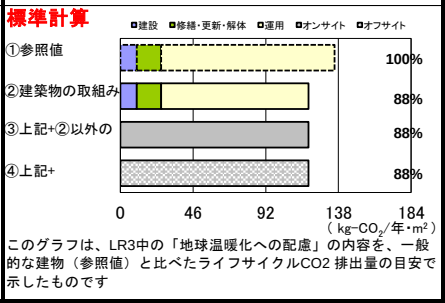
BEE =1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★ B+: ★★★ B-: ★★ C: ★



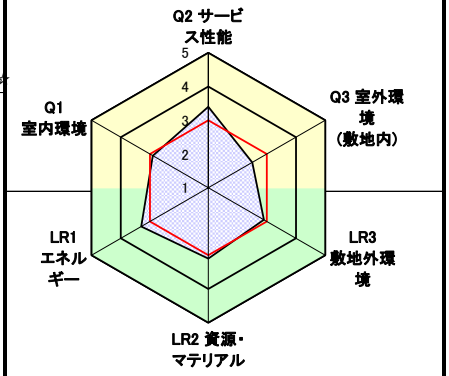
2-2 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

30%: ☆☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超: ☆



このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

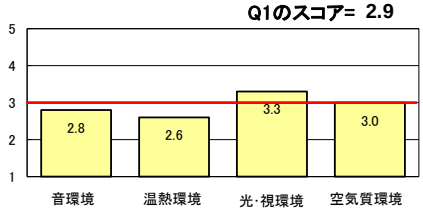
2-3 大項目の評価（レーダーチャート）



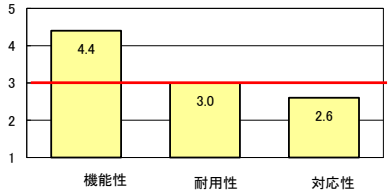
2-4 中項目の評価（バーチャート）

Q 環境品質　　Q のスコア= 2.9

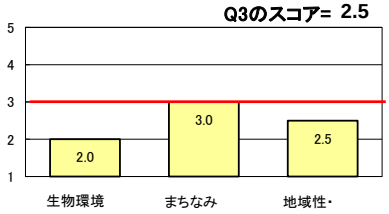
Q1 室内環境　Q1のスコア= 2.9



Q2 サービス性能　Q2のスコア= 3.4

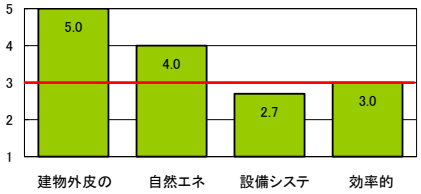


Q3 室外環境（敷地内）　Q3のスコア= 2.5

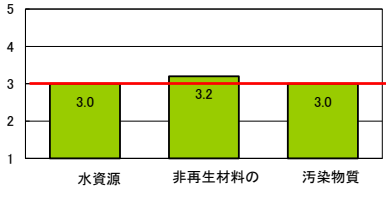


LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 3.1

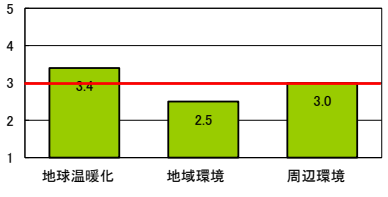
LR1 エネルギー　LR1のスコア= 3.3



LR2 資源・マテリアル　LR2のスコア= 3.1



LR3 敷地外環境　LR3のスコア=2.9



3 設計上の配慮事項

総合

利用者の居住性の向上ということに視点を置き、デザイン・機能・バリアフリーをよくする配慮をしています。

その他

特になし

Q1 室内環境

サッシの遮音性能を高めているので、外部からの騒音の軽減という面で生活者に快適性を提供します。また、全戸大きな掃出窓で昼光率を高く取れるように配慮しています。

Q2 サービス性能

利用者の安全管理の点と管理者の通信を考慮して弱電環境を整備しています。また、清掃などの維持管理がしやすい配慮をしています。

Q3 室外環境（敷地内）

できるだけの範囲で植栽を設けることで屋外環境を良くして利用者に喜んでいただけるように配慮をしています。

LR1 エネルギー

高効率設備を採用
断熱性が高く省エネルギー性が高い

LR2 資源・マテリアル

部材の再利用可能性向上への取り組みに配慮しています。

LR3 敷地外環境

敷地外環境への最低限の配慮をしています。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency（建築環境総合性能評価システム）
■Q: Quality（建築物の環境品質）、L: Load（建築物の環境負荷）、LR: Load Reduction（建築物の環境負荷低減性）、BEE: Built Environment Efficiency（建築物の環境効率）
■「ライフサイクルCO2」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE®-建築（新築）　評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版_追補版　|使用評価ソフト：CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v2.3.2)

1-1 建物概要

建物名称	サントリープロダクツ（株）高砂工場	階数	地上3F
建設地	兵庫県高砂市	構造	S造
用途地域	工業専用地域、法第22条区域	平均居住人員	100 人
地域区分	6地域	年間使用時間	7,200 時間/年（想定値）
建物用途	工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年11月　予定	評価の実施日	2024年10月16日
敷地面積	149,998 ㎡	作成者	楠 敦士
建築面積	8,715 ㎡	確認日	2024年10月16日
延床面積	10,151 ㎡	確認者	楠 敦士

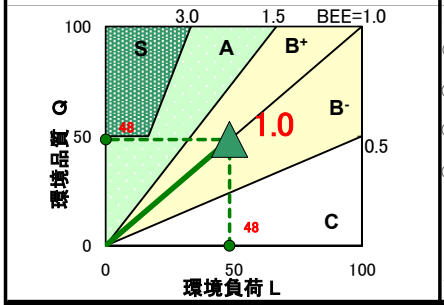
1-2 外観



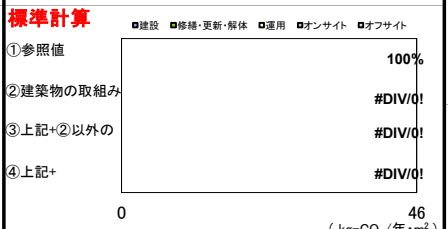
2-1 建築物の環境効率（BEEランク&チャート）

BEE =1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★ B+: ★★★ B-: ★★ C: ★

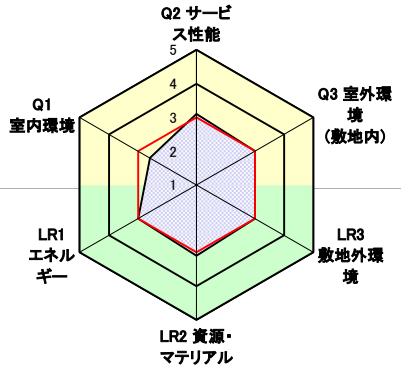


2-2 ライフサイクルCO_2(温暖化影響チャート)



このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

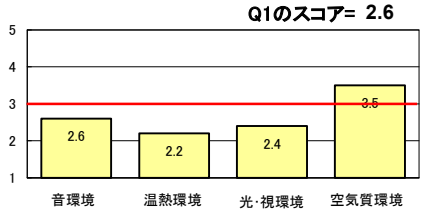
2-3 大項目の評価（レーダーチャート）



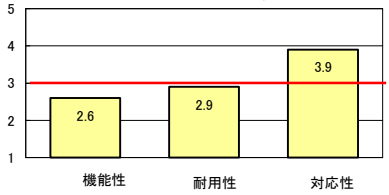
2-4 中項目の評価（バーチャート）

Q 環境品質　　Q のスコア= 2.9

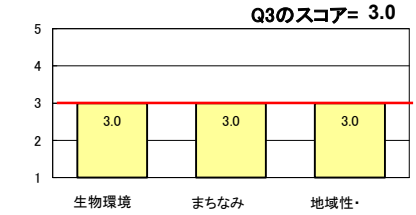
Q1 室内環境　Q1のスコア= 2.6



Q2 サービス性能　Q2のスコア= 3.1

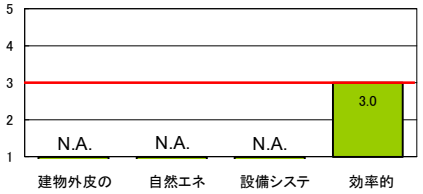


Q3 室外環境（敷地内）　Q3のスコア= 3.0

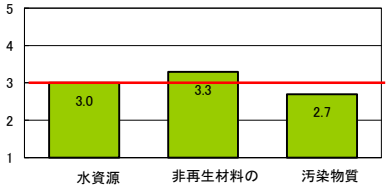


LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 3.0

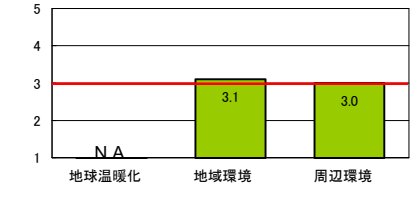
LR1 エネルギー　LR1のスコア= 3.0



LR2 資源・マテリアル　LR2のスコア= 3.1



LR3 敷地外環境　LR3のスコア= 3.0



3 設計上の配慮事項

総合

その他

Q1 室内環境

Q2 サービス性能

食品工場であることから、維持管理には防虫防鳥対策をはじめ、外部からの出入口はインターロック制御の前室を計画するなど特に配慮した。

Q3 室外環境（敷地内）

LR1 エネルギー

LR2 資源・マテリアル

将来の機器更新や増築、解体等に配慮し、間仕切壁は乾式としている。

LR3 敷地外環境

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency（建築環境総合性能評価システム）
■Q: Quality（建築物の環境品質）、L: Load（建築物の環境負荷）、LR: Load Reduction（建築物の環境負荷低減性）、BEE: Built Environment Efficiency（建築物の環境効率）
■「ライフサイクルCO_2」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO_2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE®-建築（新築）　評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版_追補版　|使用評価ソフト：CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v2.3.2)

1-1 建物概要

建物名称	サントリープロダクツ（株）高砂工場	階数	地上2F
建設地	兵庫県高砂市	構造	S造
用途地域	工業専用地域、法第22条区域	平均居住人員	50 人
地域区分	6地域	年間使用時間	7,200 時間/年（想定値）
建物用途	工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年11月　予定	評価の実施日	2024年10月16日
敷地面積	149,998 ㎡	作成者	楠 敦士
建築面積	4,830 ㎡	確認日	2024年10月16日
延床面積	5,040 ㎡	確認者	楠 敦士

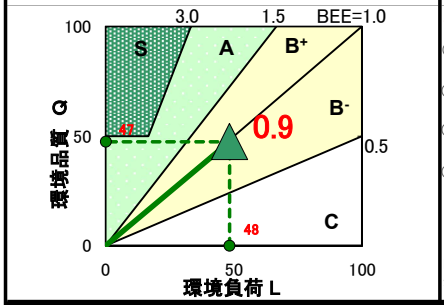
1-2 外観



2-1 建築物の環境効率（BEEランク&チャート）

BEE =0.9

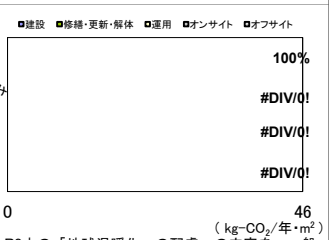
S: ★★★★★ A: ★★★★ B+: ★★★ B-: ★★ C: ★



2-2 ライフサイクルCO_2(温暖化影響チャート)

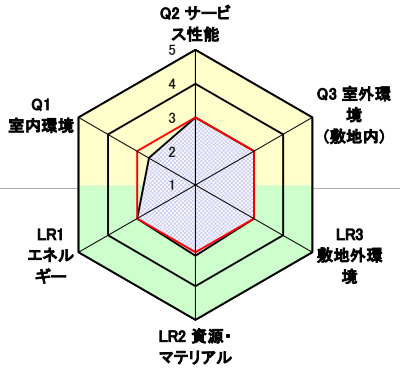
30%: ☆☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超: ☆

標準計算



このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

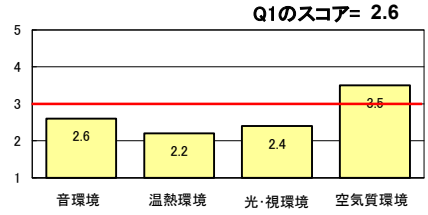
2-3 大項目の評価（レーダーチャート）



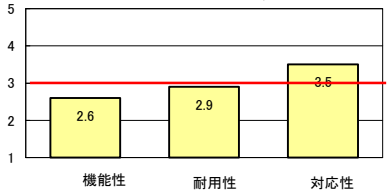
2-4 中項目の評価（バーチャート）

Q 環境品質　　Q のスコア= 2.8

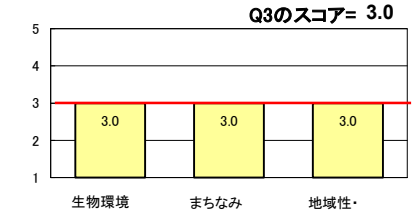
Q1 室内環境　Q1のスコア= 2.6



Q2 サービス性能　Q2のスコア= 3.0

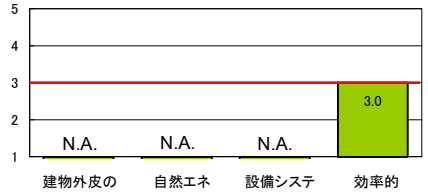


Q3 室外環境（敷地内）　Q3のスコア= 3.0

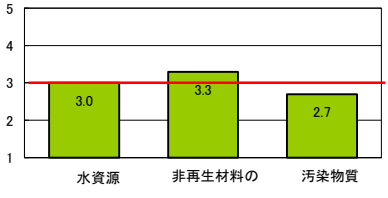


LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 3.0

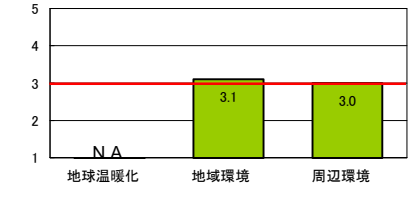
LR1 エネルギー　LR1のスコア= 3.0



LR2 資源・マテリアル　LR2のスコア= 3.1



LR3 敷地外環境　LR3のスコア= 3.0



3 設計上の配慮事項

総合	その他

Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境（敷地内）

LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
	壁はLGSによる乾式工法、天井は屋根あらわしとし、メンテナンスや増築、解体に配慮した。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency（建築環境総合性能評価システム）
■Q: Quality（建築物の環境品質）、L: Load（建築物の環境負荷）、LR: Load Reduction（建築物の環境負荷低減性）、BEE: Built Environment Efficiency（建築物の環境効率）
■「ライフサイクルCO_2」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO_2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される